



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第6号
令和元年10月21日
校長 松丸 晴美

「礼を尽くす」

1都12県で大雨特別警報が出された大型の台風19号は、多くの貴い命を奪うとともに各地に深い爪痕を残しました。練馬区では、子供たちの安全を確保するために、12日(土)を臨時休校と定め、学校でも前日は施設の入念な点検・安全対策を行いました。幸いにも大きな被害はなく、翌13日(日)には、元氣よく部活動に取り組む生徒の明るい声が聞け、ほっと胸をなでおろしました。

10月に入り、来年のオリンピック・パラリンピック東京大会の学校観戦や中高生のボランティア活動の申し込みなどが始まりました。東京大会決定が契機となって、海外の人たちの間に、インターネットや直接の来日を通じて日本の文化や日本人の生活習慣・特性などについての関心が高まり理解も深まっているようです。

9月後半から開催されているラグビーワールドカップは、日本チームの予想を超える大躍進に大変な盛り上がりを見せました。それに加え、各地域会場での心のこもった日本流の「おもてなし」に、外国人チームの選手たちからも絶賛の声があがっているようです。

その気持ちを、試合終了後に観客に対し整列してお辞儀をしたり、ロッカールームをきれいに整備して退室するなど日本風の行動で返礼しているようです。また、先日の台風で試合が中止となり、第一次リーグ敗退が決まったカナダチームの代表選手たちが釜石にとどまり、土砂や泥を撤去するボランティア活動を行ったとニュースで知りました。スポーツの国際試合を通じて、互いに敬意を表しあう姿には心を動かされます。

翻って、学校生活の中でも「互いに敬意を

表し合う」場面はたくさんあります。

本校の生徒の良さ、優れているところは数えきれないほどありますが、その中でも「素晴らしいなァ」といつもいつも感心するのは、「挨拶」と「話を聞く姿勢」です。

放課後の校庭では野球部の生徒の大きな「〇〇先生、こんにちは！」の聲がこだまするのと前後して、サッカー部の生徒も負けじと挨拶する声が響きます。体育館をのぞき込めば、バレー部やバスケットボール部の生徒の挨拶が聞こえてきます。さらに、校内を歩けば、すれ違う生徒たちの「こんにちは」の笑顔があふれています。先日行われた生徒会役員選挙公報の中にも「挨拶あふれる学校づくり」を掲げる生徒が多くいました。生徒たちの「挨拶」がこれほど素晴らしくなったのは、もしかしたら、挨拶した人からの返礼を心地よく感じた経験からかもしれません。

「話を聞く姿勢」もさらに立派になっています。特に全校朝礼は見事です。663名の生徒が8時25分のチャイムが鳴るときには整列を終え、シーンと静まりかえり話を聞く、朝礼の雰囲気ができあがっています。

私は、哲学者・教育者である森 信三さんの「時を守り、場を清め、礼を正す(尽くす)」という言葉が好きで、臨海学校などの宿泊行事や校外学習などの前には、「この言葉の精神を行動で表せる生徒であってほしい」という話をしています。

挨拶も話を聞く姿勢も相手に敬意を表する「礼を尽くす」気持ちの表れであると思います。グローバル社会に生きている生徒たちには、学校生活で培ったこの「礼を尽くす」精神を国際交流にも活かしてほしいと願っています。

修学旅行を終えて

修学旅行担当 阿部 可奈子

9/11 より 2泊3日 で、奈良・京都へ修学旅行に行ってきました。2年生の春休みから事前学習に取り組み、3年生になってからは、コース作成やスケッチブックによるまとめ学習など、たくさんの学習を積み重ねて臨んだ修学旅行でした。実行委員がいろいろな掲示物で盛り上げてくれたおかげもあり、皆、充実した3日間を過ごすことができましたようです。この機会に、皆が多くのことを学べたことは、事後に書いた作文などからよくわかりました。ただ、もう少し正直な意見（せつかく保護者の方に高い費用を出して頂いているのですから！）を聞いてみたいと思い、みんなに「率直な感想を聞かせて」といくつかの項目についてアンケートを取りました。以下に紹介します。

【生徒の感想】

琵琶湖ホテル	<ul style="list-style-type: none">○文句なしで最高でした。○琵琶湖がよく見えたし、琵琶湖の大きさを知ることができた。○ベッドも寝心地がよく、とてもよく眠れた。▼ホテルが良すぎてあまり騒いだらダメと思って思う存分遊べなかった。▼腹痛の人が多く出て、誰かが入浴しているとわざわざ3階のトイレまで行かなくてはいけなかった。
体験学習 (テーブルマナー・ 漆器加飾)	<ul style="list-style-type: none">○社会に出るときに必ず役に立つと思うので続けてほしい。○みんなと作ることができるからおもしろい。▼一つの料理が終わってから次の料理が来るまでの時間が長かった。▼夜のスケジュールがハードで忙しかった。
シルバーガイドさん	<ul style="list-style-type: none">○行き方も場所もよくわからない中、教えてくださりとても助かった。うまく時間を調節して下さった。○ガイドさんが選んでくれた昼食場所がすごくおいしかった。▼コース係は自分たちが決めたコースと違って不満だったかも。▼もう少し自分達で考えて楽しみながらやりたいところもあった。
タクシー行動	<ul style="list-style-type: none">○お天気関係なく、遠いところに行けた。○運転手さんが面白くて優しかった。▼車の中でお話に相槌を打つのが少し疲れた。▼車酔いしやすい人は辛そうだった。



修学旅行中だけでなくいつも感じていたことですが、どのようなことも前向きにとらえられる生徒が多いと改めて感じました（上表にはあえてマイナスな意見ものせましたが、これは生徒に「マイナスな感想も教えて」とこちらが指示したからです）。

大規模校であるがゆえに、駅での移動などひたすら待つという、我慢する場面も多々ありましたが、不満も言わず、その日にあった出来事を我々教師にニコニコ話してくれながら待てる生徒がたくさんいたことをうれしく思いました。

行くときはうだるような暑さだった東京に、戻ってきたら秋風が吹いており、季節が移ったことを肌で感じました。3年生には、進路をみつめつつ、充実した学校生活を送らせていきたいと考えています。保護者の皆様、これからもよろしくお願ひいたします。

第2学年職場体験

2学年担当 村野 冬樹

9月12日(木)、13日(金)の2日間にわたって、2年生は近隣の事業所66か所にご協力をいただき、「職場体験」を行いました。体験場所を提供して下さった事業所、地域の皆様には厚く御礼を申し上げます。

生徒たちは1年3学期から総合的な学習の時間を利用してキャリア教育の一環としての進路学習を始め、自分の職業への適性や興味・関心のある職業調べを経て、6月に職場体験の希望職種のアンケートを提出。定員との関係で残念ながら第一希望に漏れてしまうケースもありましたが、事業所が決まってからは自己紹介を書いたり、事前に職場を訪問し体験時間や注意事項を確認するなど、入念に準備を進めてまいりました。

また学年も、レディネステストの実施やゲストティーチャーを招いてのマナー講座の開催など、職場体験の成功に向けての取り組みを行ってきました。準備の甲斐あって、当日は大きなトラブルもなく、満足のいく体験学習ができたようです。体験後は事業所にお礼状を書きながら、職場体験のまとめを掲示物やプレゼンテーションソフトを用いて製作する予定です。



体験した生徒の感想 (一部 しおりより抜粋)

- この仕事をしているうちに、子供たちが話してくれたり遊んでくれたり笑ってくれたりするのを見ていると、疲れたり筋肉痛になっても頑張ろうと思えるようになりました。私も大人になったら、人が笑顔になれるような仕事に就きたいと思いました。(保育園 女子)
- 商品の陳列の工夫など店の努力が改めて分かった。お客さんに商品の配達を依頼されて戸惑ったり、尋ねられたことにあやふやな敬語で答えたりしたので、もっと勉強して将来ちゃんといえるようになりたいと思った。(小売店 男子)

体験先事業所からのコメント (一部 しおりより抜粋)

- 「ものすごく忙しい中で、なかなかゆっくり仕事を見てあげられなかったのですが、テキパキと仕事をしてくれたので本当に助かりました。初々しい笑顔に、こちらも初心の気持ちを思い出しました。」(飲食店 女子)
- 「子供たちから大人気。けんかの時も仲裁してくれる等、頼もしかったですよ。また、子供たちに会いに来てください。」(保育園 男子)
- 「ブログの作成ありがとうございます。車のこととトヨタの社員の仕事を体験してもらったことを、社会人になったら思い出してくださいね。」(販売店 女子)

ビブリオバトル

図書担当 加藤 陽子

本校で初めてのビブリオバトル決戦大会が、図書委員会と関町図書館とのコラボレーション企画として、9月5日(木)関町図書館2階、視聴覚室にて開催されました。ビブリオバトルとは、発表者が面白いと思った本を紹介し、それを聞いた人が「一番読んでみたい」と思った本に投票するコミュニケーションゲームです。今回は3年生のクラス戦を勝ち抜いた6名が発表者として登場しました。観客席には事前に申し込んでいただいた保護者の方、石神井西中の先生、生徒に加え、関町図書館職員の皆さんや図書館に来館されていた一般の方にも来ていただきました。司会や係活動は図書委員の皆さんが行いました。

出演者の皆さんは緊張していたと思いますが、原稿を見ることもなく、たくさんのお客さまの前で、堂々と発表していました。一人の持ち時間は5分ですが、全員5分びったりで発表していました。ジェスチャーを交えながら、本への思いを語ったり、読後に自分に起きた気持ちの変化を語ったり、時には本を手に取り印象的な場面を読み上げたりと工夫のある発表で観客を楽しませてくれました。どの発表もすばらしく、集計した時の差はわずかに一票ずつでした。

各クラスの代表とおすすめ本は、3A西田麻沙さん「スイート・マイホーム」(神津凜子著、講談社)、3B佐藤勇斗くん「フリーター、家を買う」(有川浩著、幻冬舎)、3C田中美羽さん「一〇五度」(佐藤まどか著、あすなろ書房)、3D濱田祐誠くん「サッカーボーイズ 卒業 ラストゲーム」(はらだみずき著、角川)、3E阿部陽美さん「ツナグ」(辻村深月著、新潮社)、3F伊藤愛海さん「百年法」(山田宗樹著、角川)です。投票の結果、チャンプ本は「百年法」、準チャンプ本は、「スイート・マイホーム」に決まりました。

今回のビブリオバトルで使われた本は、関町図書館2階のYAコーナーに展示される予定です。3年生全員が参加したクラス予選で使用された本も多数展示される予定ですので、ぜひお立ち寄りの際にご覧ください。校外でこのような発表の機会を与えていただき、ありがとうございました。

認知症サポーター養成講座

1学年担当 坂林 瑠璃子

先日の敬老の日には、総務省統計局から、日本の総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が過去最高の28.4%になっていることが発表されました。今の中学生が社会人になるころにはこの数値がさらに上がることが予想されます。日本の社会の様子に目を向け、さまざまな人と共に生きていく力を身につけることが、今の中学生には求められていると思います。石神井西中学校では、「共生」をテーマとした総合的な学習の時間の中で、高齢者福祉施設での福祉体験を行っています。この活動は、地域の福祉施設(老人ホームやデイサービスセンター)に中学生が少人数グループで行き、利用者の方々と交流したり、施設の方のお手伝いしたりする体験です。この学習に、中学校周辺の14施設もの方々が協力してくださっています。今年はこの活動を第1学年で実施することになりました。福祉体験を実施するにあたり、高齢者の方々への理解を深めるために、「認知症サポーター養成講座」を行いました。慈雲堂病院の方々の講演と分かりやすい劇による説明で、認知症について学ぶ講座です。認知症サポーターとは、認知症の人の「応援者(サポーター)」のことです。認知症について正しく理解し、どのような関わり方をすればよいか教えてもらうことで、高齢者の方々との交流のヒントを得ることができたと思います。



認知症サポーターの証であるオレンジリング。生徒たちももらいました。

「第3学年 全国学力 学習状況調査」の結果から

4月中旬に、3年生を対象として「全国学力 学習状況調査」(文部科学省 国立教育政策研究所)が実施されました。この調査は、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とした調査で、今年度は「国語」「数学」「英語」「生徒質問紙(生活習慣や学校環境に関する質問)」の調査がありました。

今回、調査結果の分析がまとまりましたので、本校の状況を中心にお知らせします。英語の「話すこと」についての調査は、練馬区として実施しませんでしたので、結果には反映されていません。

●「国語」「数学」「英語」いずれも東京都の平均正答率を上回る結果

本校の平均正答率は表のとおりでした。東京都・全国の数値を上回っており、良好な結果となりました。

	本 校	東京都 (公立)	全国 (公立)
国 語	77%	74%	72.8%
数 学	64%	62%	59.8%
英 語	65%	59%	56.0%

●正答率の低かった問題

国語

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ。
- ・封筒の書き方を理解して書く。
- ・話し合いの話題や方向を捉える。

数学

- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
- ・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる。
- ・総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる。

英語

- ・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。
- ・日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。
- ・文の中で適切に接続詞を用いることができる。

質問のトピックについて述べます。

- 「1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。」

本校39.0%, 全国(公立)34.0%

全国と比べて高い結果となりました。一昨年度、昨年度と取り組んできた「考え議論する道徳」の成果が現れたものだと思います。授業での様子は数年前と明らかに変わり、自分の考えを書いて終わるのではなく、それを周りの人たちと共有することで、考えを深めることが出来ました。この活動は、道徳だけでなく教科の授業にも生かされています。

- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。」

本校69.7%, 全国(公立)75.6%

- 「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。」

本校15.4%, 全国(公立)22.5%

全国と比べて低い結果となりました。成功体験は生徒の自己肯定感を高めるものになりますが、失敗を恐れずにチャレンジすることで、困難な状況でも諦めずに前向きに立ち向かっていく姿勢も培われます。学校行事や部活動などを通して挑戦させるように指導の工夫をしていきます。

ご家庭でも、様々な体験をさせるとともに、自らの力で乗り越えさせるような見守りをしていただけたらと思います。



「第2学年 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果

	国語	社会	数学	理科	英語
本校	77.6%	53.9%	60.7%	53.4%	64.7%
東京都	71.7%	50.9%	52.9%	49.3%	55.9%

「第3学年 練馬区学力調査」の結果

	社会〔地理〕〔歴史〕			理科		
		基礎	活用		基礎	活用
本校	57.0%	59.3%	49.6%	60.0%	63.3%	52.1%
練馬区	55.5%	58.5%	45.9%	52.9%	55.8%	46.0%
全国	56.3%	60.0%	44.6%	55.9%	59.3%	47.6%

●具体的な授業改善策● (後日ホームページに掲載予定のものからの抜粋)

国語	<p>【2年】既習漢字の定期的な復習・新出漢字の確認を授業内で行う。「何を」「どのように」書くのかという視点をはっきり示し、文書構成の仕方を指導する。</p> <p>【3年】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使用できるようにする。</p>
社会	<p>【2年】表現する力が弱いため、互いに伝え合い、教え合うことを授業で強調する。基礎・基本の定着を図るための小テストの時間などをバランスよく取り入れる。</p> <p>【3年】3学期には復習として地理・歴史についても再学習をする。現状では、当該分野の歴史年表を学習し、歴史の流れの全体像を掴ませている。</p>
数学	<p>【2年】小テストなどを通して、生徒が自分の習得度を知り、学習活動を調整し、的確な復習を促していく。</p> <p>【3年】表やグラフ等を使う問題では、単に答えを求めるのではなく、解法の道筋も記載させるようにする。</p>
理科	<p>【2年】実験・観察を自らの力で計画・実施させることで技能を向上させる。確認テストなどを実施し基礎基本の定着を図る。</p> <p>【3年】グループや個人単位で原子モデルを活用し、物質の成り立ちや化学変化を生徒自身が視覚的にとらえさせる。</p>
英語	<p>【2年】既習の文法事項を活用して、問題解決等を含む活動を充実させる。スピーチやスキットなどの発表活動で、スパイラルに学習させる。</p> <p>【3年】1、2年生で既習の文法問題について、復習する機会を設け、スパイラルに学習していく。</p>

防災訓練（引き取り訓練）

防災教育担当 長谷川 健太

9月14日（土）に引き取り訓練を実施しました。保護者の皆様におかれましてはお暑い中、訓練にご協力いただきありがとうございました。練馬区では震度5弱以上の地震が起こった場合、原則保護者の生徒引き取りが必要となっています。今年は地震の脅威だけでなく、台風による被害も各地で見られ、現在も懸命な復旧活動が行われています。本校では迫りくる自然災害に対し、毎月一回の避難訓練を欠かさず行っております。各回ごとにねらいを設定し、次回10月24日に行われる訓練では放課後の部活動中の訓練を予定しております。今年度の訓練における大きな目標は、『自分自身の命を守ること』、『点呼を迅速に行う』、ということです。1学期には地震が起こった際、とっさに身を守る姿勢（ダンゴムシのポーズ）の練習を毎回行いました。また、校庭に避難した際は、教員が点呼をとることに加え、自分たちでバディー点呼（決められた2人1組）をとり、安否確認を行うという方法を取り入れました。1秒でも早く生徒の安全の把握を行うためです。今年度も危機感をもって真剣に、各訓練に取り組んでいます。



セーフティー教室

生活指導部担当 佐藤 由乃

9月19日（木）、本校体育館にてセーフティ教室を行いました。テーマは、「SNSの正しい使い方について」です。LINE株式会社の方に来ていただき、講演をしていただきました。人によって受け取り方が違うことや、文字だけによるやり取りの難しさなど、様々な例をあげてSNSをコミュニケーションツールとした時の落とし穴について話をしていただきました。人が話を聞く時、インプットされる情報のうち、「7%が文字、話し方が38%、表情が55%」とも言われます。自分の思いを伝えるためには、やはり直接会って話をするのが一番です。しかし、これだけ便利なSNSが身近にあれば、多くの人は利用します。だからこそ、「相手の側に立って考える」ことを日頃から意識しなければいけません。そのようなことを、キャッチボールの実演などを交え、中学生にも非常にわかりやすく講演をしていただきました。また、会の最後には石神井警察署の方から薬物の危険性について話をしていただきました。薬物は、一度手を出すと、それだけで脳が破壊されてしまうそうです。したがって、一度手を出すと脳の機能をもとに戻すことができません。遠いようで、どこに潜んでいるかわからない薬物。

SNSも薬物も、正しい知識をもっていなければ非常に危険なものです。生徒にそれを知ってもらえる、とてもいい機会になりました。



■生徒の活動記録■

連合陸上大会(9/20) 男子 第7位 女子 第3位 総合 第4位

今年度は練馬区総合運動場陸上競技場において、第57回練馬区中学校生徒総合体育大会陸上競技大会（連合陸上）が開催されました。本校からは陸上部員を中心に約50名の生徒が参加しました。初めての開催場所でコンディションを整えるのに大変だったと思いますが、総合4位と健闘しました。

1年男子 100m 小泉 信明 第6位 12秒73
2年男子 100m 星野 大和 第3位 12秒09
共通男子 400m 飯高 紘一郎 第5位 56秒01
共通男子 800m 中村 悠人 第1位 2分05秒00
1年男子 1500m 毛利 亮太 第2位 4分49秒93
1・2年男子走高跳 高橋 慶次 第4位 1m45
3年男子走幅跳 佐藤 匠真 第1位 6m70
1年男子 4X100mR 山口 海斗、吉田 梨玖、紙田 健吾、小泉 信明
第8位 51秒80
2年男子 4X100mR 橋本 裕仁、星野 大和、小倉 竜也、中村 悠人
第5位 48秒71

1年女子 100m 長澤りいらエマンナ 第2位 13秒65
2年女子 100m 川崎 啓子 第1位 13秒07
3年女子 100mYH 渡邊 凜織 第6位 17秒57
共通女子 200m 上田 彩月 第1位 26秒45
共通女子 800m 宮本 美桜 第4位 2分32秒15
共通女子 800m 西田 麻沙 第7位 2分32秒78
1,2年女子走高跳 三浦 リオ 第7位 1m25
3年女子走高跳 川畑 桃 第4位 1m35
2年女子走幅跳 宮川 琴音 第1位 4m92
3年女子走幅跳 中村 愛花 第3位 4m76
1年女子 4X100mR 田中 心彩、佐藤 柊花、菊池 愛海、長澤りいらエマンナ
第2位 55秒98
2年女子 4X100mR 三浦 リオ、宮川 琴音、宮本 美桜、川崎 啓子
第1位 51秒91
共通女子 4X100mR 西田 麻沙、中村 愛花、渡邊 凜織、上田 彩月
第6位 53秒86

